

ク ロ ー バ ー

Clover

VOL.44

2024 年夏



株式会社 さち コーポレーション
グループホーム さち

ホーム長のご挨拶



私事ですが先日主人の一周忌を迎えました。死後も慌たしい手続きが重なり目まぐるしく時間が過ぎていきましたがそれもひと段落した頃、命日に主人の友人から「友を偲んで」と大きな蘭の鉢植えが届きました。ずっと友達でいてくれて、忘れないでいてくれたことがとてもありがたく、その絆の中に主人の存在を感じることが出来ました。

前回に引き続いて今回は主人の看取りから家族葬についてお話しできたらと思います。

主人の体を蝕んだ癌はついには脳にも転移し、最後は緩和病棟へ入院となりました。呼吸をするのがやっとで意識があるのか分からないような状態で、体はチューブだらけとなりました。身体が体温調整することも難しくなり、いよいよ医師との看取りの話も終盤となりました。本人の「自宅に帰りたい」意思の尊重はしたい。家族皆働いている中、自宅で3時間おきの喀痰吸引、経管栄養、酸素吸入等の医療行為が行えるのか？自分の家族のために仕事を休んだり勤務時間を減らしてはご利用者様や職員に迷惑をかけてしまう。様々な葛藤で家族が分裂しそうになりました。それでも最後に「今生の別れ」の決断を下すのは私となります。腹を括る事の重さを痛感しながら残される家族が後悔しないよう考え、主人と私の思いを医師に伝え自宅へ帰ることを決めました。

余命幾ばくもないためすぐに退院となりました。自宅に近づき「お父さん、家が見えたよ、帰ってきたよ！」と伝えると嬉しかったのか眼球が少し動いたのを見て安堵を覚えました。往診の医師が来て下さると「何とか間に合いましたね、そう長くはないですよ。心構えて下さい。家に帰れて良かったですね」と声をかけてくださり「間に合った！」とさらに安堵しました。その日の夜、私が主人のベッドの横でいつものように洗濯物を畳んでいると隣から微かな声が聞こえ、それから少しして孫たちに見守られながら眠るように息を引き取りました。自宅に帰るぎりぎりまで主人は頑張っていたのです。

葬儀は以前から家族葬で質素に執り行うことは決めていましたが、コロナ禍で親族や友人を呼べないこともあり、自宅で家族のみで行うことにしました。私は訪問看護師と一緒に主人の体を拭き、長女と長男で仏間へ布団を敷き主人を寝床へ移動させ、次女は顔のメイクを施し、三女は主人のお気に入りの服を選び思い出の帽子を添えました。誰か彼が主人に抱き着いて添い寝をし、思い出話をしながらゆっくりと別れの時間を過ごし、最後は自宅から火葬場へと出棺しました。家族ごとに様々な最期があります。理想通りにいかないことの方が多いですが、残す者、残される者互いに悔いが残らないよう、生前から家族皆で希望を話し合える機会を多く持つことをおすすめします。

さちの日日是好日

こちらのコーナーではさちの日常のひとコマをご紹介します。

さちでは季節や月のイベントに合わせて壁飾りや吊るし飾り等の作品を作っています。

春なら桜をテーマにしたり、夏ならヒマワリ…という具合です♪

利用者様に手伝って頂きながら時間を作って取り組んでいます。

今回は“うめユニット”の作品作りの様子を紹介していきたいと思います。特に作品作りの担当者などは決まっておらず“今回はこんなのが作りたい！”と、職員皆で月のイベントに合わせて、アイデアや意見を出し合いながら決めていきます。

私も含め、うめの職員に作品づくりで気をつけている事を聞いてみました。



「皆が作品づくりに携わっている事、見て何かが分かるようにインパクトがあるもの」と、利用者様の事を気に掛けながら進めています。作業能力保持の為、手や指先を使ったりする事が出来る作品作りは、リハビリを兼ねています。ハサミを使い画用紙を切る事も何気ない事のように見えますが手や指の運動になります。一人ひとりの出来る事、手助けがあればやれそうな事に着目して作品を手掛けています。そうして出来上がった作品を利用者様が笑みを浮かべて眺めていらっしゃる姿が目に入ると、とても嬉しい気持ちになります。作品作りの際、利用者様から「これはこうしたらいいんじゃない？この色を塗ったらもっと良くなるよ！」と、アドバイスを下さることもあります(^^)♪

職員と利用者様の共同作業の賜物が1つの作品となりグループホームさちの宝物だと思っています。これからも利用者様と一緒に楽しく素敵な宝物を作って行きたいなと思っています。

小森

あっちこっちそっち ✨-----✨-----✨-----✨

このコーナーは、グループホームさちの活動をご報告いたします。

BBQ（5月）

毎年恒例の BBQ ですが、今年は防災訓練も合わせて行いました。炭焼きのお肉や焼きそば、豚汁と併せて非常食のアルファ米を頂きました。パサパサしたりせず利用者様からも好評でしたので、非常時にも安心してお出しすることが出来そうです♪また、久しぶりに西山自治区から大きなテントを借りて組み立てました。久しぶりの事で職員は四苦八苦しましたが、利用者様からは「たまには外で食べると気持ちが良いね!」「いいお天気だけど、このテントがあるから暑くないね」と嬉しいお声が。とても楽しい BBQ 会になりました☆



父の日（6月）

父の日はさくらユニットでは香嵐渓に出掛け旬の幸である鮎を召し上がられました。うめユニットでは“うなぎ”を昼食に頂きました。男性利用者さまは口数は少ないですが、鰻や鮎を前にされると言葉より先に嬉しそうな表情で喜びを表現してくださいました。美味しいものを食べてニコニコの笑顔が眩しいお父さんたちなのでした!(^^)!



西山祭り（7月）

コロナでしばらく開催されなかった夏祭りですが、今年は西山自治区の夏祭りに参加することが出来ました。フランクフルトやかき氷を召し上がりました。盆踊りが始まると、踊っている子供達や地域の方を見ながら手を動かされたり盆踊りの型を取られ楽しめました。また、浴衣姿の子供達を見つけると「可愛いねえ、昔はよく着ていたよ」と懐かしまれた利用者様も!!



さちのつぶやき

ここでは、グループホームさちで聞こえたつぶやきを少しずつご紹介いたします。

ありがとう

男性ご利用者のOさん。とても硬派な方で、ご利用当初、特に女性職員への対応はぶっきらぼうで支援を嫌がられることもありましたが…ぶつぶつとお叱りを受けることも多かったのですが、その内容をよくお聞きすると「お前たちはしっかりと体を休めないからえらいんだ」等、職員を気遣われてのことで、本当はとても心優しいお方です。



一年経った今ではさちでの生活や職員にもすっかりと慣れられ、笑顔でお話しされたり、声掛けに「はい、ありがとう」と一年前には口にされることのなかったお礼を言われるようになりました。Oさんの変化に驚ききつつも嬉しい場面が増えてきました♪

素敵な日課

女性ご利用者のAさん。普段のAさんは利用者様だけではなく職員にも気を遣って下さるとも優しい性格です。そんなAさんは就寝前に必ず職員に「おやすみなさい、今日もありがとうね。明日もよろしくお願いします」と毎日欠かさず仰ってくださいます。それは夜だけでは無く朝も!!「おはようございます。今日もよろしくね」と。



あいさつをととても大事にされている方だなと感じました。

そんな素敵なAさんを私も見習って行きたいと思いました。

食べることは生きること♪

今年、百歳になるHさん。夏祭りに参加された時のお話です。会場に行くと丁度、夕食時間と重なり屋上でフランクフルトを購入して召し上がられていました。肉汁溢れる本格的なソーセージで百歳近いHさんには無理だろうな…何て思っていたのですが…、むしゃむしゃモグモグパクパク…自前の歯で見事に完食されたのです!! Σ(°Д°)その勇ましい姿を拝見して思



いました。「食べる事は生きること!」そういえばHさん、いつも食事は残さず完食されます。元気の源は食にあり!!いつまでも元気に過ごせるように美味しい食事を提供できるように精進せねばと、肉汁溢れるフランクフルトを召し上がられるHさんの姿を忘れないでおこうと思いました。

小渡 夢掛け風鈴

連日の酷暑に夏バテしそうな今日この頃ですが、涼を求めて先日、豊田市小渡町で行われている「夢掛け風鈴」を見に行きました。小渡町は山間にある町なので、豊田市街よりも5度近く気温が低くなる時もあります。

観光用に用意されている無料駐車場から「夢掛け風鈴」の案内表示へ進んでいくと、朝顔の蔓で覆われた小さな赤い橋があります。下を流れる川からの風が吹き、沢山の風鈴の音が訪れる人を迎えてくれます。橋を渡り終えると川へ下りることができますが、何とこちらには風情溢れる川床が用意されているのです。飲食店があるわけではなく、無人のフリースペースですが、暑い中歩いた後の小休憩に丁度よく、下から橋を眺めたり、川に足を泳がせて涼んだりすることができます。町の方々の情緒溢れる心遣いがとてもありがたく感じる場所です。



川を離れて小渡の商店街へ出るとまず驚くのは蝉しぐれならぬ風鈴しぐれと言っても過言ではない風鈴の音。いたるところに様々な風鈴が飾られています。静かな町中をさあっと風が吹けば涼やかな音色が響き渡ります。

散策していると大分暑くなってきたので一休憩。無料休憩所の隣では毎週金～日曜日にフルーツかき氷が販売されています。フルーツがたっぷり入った手作りシロップのかき氷です。この日はメロン氷を頂きましたが、さっぱりとした甘さでとても美味しかったですよ。他にもレモネードも売られていました。

涼んだところでまた歩き出すと、老舗和菓子屋の「ひだや」さんが見えてきます。こちらでは夏季限定で「ゆめ風鈴」というとても可愛らしく涼やかな見た目の水まんじゅうが販売されています。さっぱりとした梅餡が包まれており甘さは控えめなので、まさに夏にぴったりです。ひだやさんは購入した和菓子を店内でいただくこともできますよ。



他にも増福寺さんでは願い事を書いた短冊を吊るした「夢掛け風鈴」の奉納や写経体験なども行われていたり、商店では風鈴絵付け体験など、様々なイベントが行われています。この「夢掛け風鈴」は毎年7月中旬から8月末まで行われており、まだまだ楽しめますのでちょっとした避暑がてら足を運ばれるのもおすすめです♪

サポーターさん募集

グループホームさちではサポーターさん（ボランティア）を募集しています。ご利用者様とお話相手や食後の片付け、庭の手入れや窓ふき、車の手入れなどなど。ぜひご興味ございましたら、グループホームさちまでお問合せ下さい！



<お問合せ先>

グループホームさち 担当：神谷

電 話：0565-35-0805

メール：sachi@eco.ocn.ne.jp

編集雑記

今年元旦に発生した能登半島地震をきっかけに、GHのある自治区と福祉関係施設、社会福祉協議会のメンバーが月1回集まり、この地域での災害対応の話し合いが行われるようになりました。自助を前提としてそれぞれの立場で出来る事、協力が必要となる事などの共助の部分を話し合ったすぐ後、8月8日に発生した宮崎県で発生した地震は非常に緊張感が走った一方で、少しでも早く地域の方々と震災の事について話し合いをしていてよかったという安心感がありました。近所づきあいが希薄してきている中、何かあった時は隣近所手を取り合い助け合える関係をしっかりと築いていきたいものです。〈真理〉

発行／株式会社さちコーポレーション

〒471-0067 愛知県豊田市栄生町3-58 ☎0565-35-0805

<http://www.e-sachi.co.jp/>

発行責任者／神谷 幸子

発行日／2024年8月10日（発行予定月：2月5月8月11月）